

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	切除不能膵癌に対する FOLFIRINOX 療法またはゲムシタピン + ナブパ クリタキセル併用療法により切除可能と判断された膵癌患者の登録解 析研究
	研究目的	切除不能膵癌に対して FOLFIRINOX 療法または GnP 療法を施行後、切除可 能と判断され、開腹手術が施行された患者の予後および予後に影響する因 子を後ろ向き研究により明らかにする。
	研究対象者	切除不能局所進行あるいは遠隔転移を有する膵癌患者で FOLFIRINOX 療法または GnP 療法を受け、2014 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日 の間に切除可能と判断された開腹手術施行例および非手術施行例。
	研究期間	西 暦 2019 年 5 月 22 日 ～ 西 暦 2020 年 9 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	森永 聡一郎
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科・肝胆膵、消化器内科・肝胆膵
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	杏林大学医学部内科学腫瘍科    教授 古瀬 純司 和歌山県立医科大学外科学第2講座    教授 山上 裕機